

講義名	心の科学			授業形態	
担当教員	池田 曜子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

人の心については、現代社会では日常内の多様な機会を取り上げられるようになっていきます。そのため、これまで聞いたり体験したりした内容から、なんとなく知っているつもりになっているものもいるかもしれません。しかし、心とはいったい何を指しているのか、そして、科学的に心をとらえるとはいったいどのようなことなのかについて考える機会が、あまりなかったのではないのでしょうか。本講義では、受講者が、考え、感じ、行動する力とそのメカニズムを知ることによって、改めて人の心について思索をめぐらせ、日常生活や今後の大学生活について考えるきっかけとなることをめざしています。

到達目標

科学的な考え方は何かを理解できる
講義でとりあげた内容について、自分の日常生活内の事例を探し、自分の言葉で説明できる
人の心について自分なりにとらえ直し、今後の日常生活内において活用することができる

提出課題

各回の授業の課題と感想

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各授業後に提出していただいた課題内容の共有すべき内容や質問については、次週の授業の初めにフィードバックを行います。

評価の基準

最終試験（70％）と各授業後課題（30％）を総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

人の心について関心を持ち、自分なりに考えることが必要です。ただ覚えるだけでなく、自分の日常生活や行動に照らし合わせて、自分なりに応用できる形へ変えてください。授業においては、配布資料にメモを取る癖をつけ、授業を受ける態度を身につけてください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

参考文献は、授業内で紹介します。

授業計画

- 人の心とは何か(科学的な考え方は何か)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(240分)
- 記憶と認知(1)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 記憶と認知(2)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 画像とイメージ
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 空間の認知
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 人間の発達
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- ほめることの大切さ(1)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- ほめることの大切さ(2)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- やる気とはなにか(1)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- やる気とはなにか(2)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 幸福感
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 学習方略(1)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- 学習方略(2)
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- メタ認知
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)
- まとめ
予習内容：各自で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと(60分)
復習内容：課題に取り組み際に、授業の内容を振り返り自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること(180分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで得られる知識は、「気づきの教育」の一環として、「なりたい自分」を発見するための基礎となる。さらに、自分の特性に気づくだけでなく、今後どのような知識をさらに身につけたいかについて考える基礎となる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業は実施しない。

実務経験の有無及び活用

備考

自分で選んで受講したことを忘れず、積極的な態度で授業に参加してください。また、新たなことに興味・関心を持ち、これまでとは違った見方をしてみることを心がけてください。